

# 50年のあゆみ

ロゴマークは、50年を記念する木の年輪をモチーフにしたデザインです。



# 1961年－2001年 結成から40年まで



川崎球場でプロ野球大洋ホエールズが日本シリーズ優勝（昭和35年）



旧国鉄川崎駅前（昭和39年）

## 昭和36年（1961年）

- 12月 川崎市連合町内会連絡会結成大会開かれる（市立労働会館）。町内会・自治会など318団体が参加し「市内各連合町内会相互の連絡を密にし、地域社会の振興発展をはかる」ことを目的に結成。規約を決めると共に、初代会長に高昇三氏が選出される。

## 昭和37年（1962年）

- 4月 防犯灯補助金交付要綱ができる。  
5月 町内会・自治会に対する市の諸交付金増額並びに市広報課内市民係（仮称）の新設についての陳情書を提出する。  
10月 川崎市美化運動実施本部が発足する。  
11月 防犯灯設置補助金交付要綱ができる。

## 昭和38年（1963年）

- 9月 川崎市全市域が「煤煙の排出の規制等に関する法律」の指定地区となる。  
12月 常任理事会で、①町内会・自治会未加入世帯の解消 ②広報紙の配布 ③防犯灯補助金の増額について協議する。

## 昭和39年（1964年）

- 6月 総会において永年勤続町内会長及び退任理事に対して感謝状を贈る。  
7月 新潟地震被災に対する見舞い金の募金活動で1,140万円が集まる。地震罹災者に対する見舞いと被害状況視察を行う。

## 昭和40年（1965年）

- 4月 防犯灯維持費の助成金が80%に増額される。  
6月 第2代会長に横山央氏が選出される。  
12月 青森県三沢市大火罹災者に対する募金を行う。

## 昭和41年（1966年）

- 3月 大師及び中原町内会連合会で町内活動についての世論調査を行う。  
7月 総会において3月に行った世論調査の結果報告を行う。  
12月 川崎市連合町内会連絡会結成5周年記念大会が開催される。



市営埠頭を埋める輸出自動車（昭和42年）

### 昭和42年（1967年）

- 4月 市長選挙で金刺不二太郎氏が再選される。
- 8月 第3代会長に明石正義氏が選出される。
- 10月 新潟・山形地方集中豪雨罹災者に対する見舞金を贈る。

### 昭和43年（1968年）

- 2月 常任理事会で町内会・自治会敷地の免税措置について協議をする。
- 4月 町会長バッジを制定する。
- 5月 稲田・生田・柿生3地区の連合会で町内会等の活動について世論調査を行う。
- 5月 小田・田島中央・臨港3地区の連合会で町内会等の活動について世論調査を行う。
- 12月 大気汚染防止法・騒音規制法が施行される。

### 昭和44年（1969年）

- 4月 川崎市は、市電を廃止し、ワンマンカーバスを運行する。
- 8月 川崎市連合町内会連絡会の名称を川崎市全町内会連合会とする。
- 10月 「町会花壇コンクール」（美化新生活運動・高津支部）に、二子第5町会など5団体が参加。

### 昭和45年（1970年）

- 45年度 市・県から初めて助成金の交付を受ける（市65万円、県126万円）。
- 11月 百合丘誕生10周年記念文化祭を開催する。
- 12月 東パキスタン災害罹災者に対する見舞金（411,127円）を贈る。



中原区役所の開設記念式典

### 昭和46年（1971年）

- 46年度 町会長へ市営バスの無料乗車証が交付される。
- 4月 市長選挙で伊藤三郎氏が当選する。
- 8月 町内会・自治会館建設資金の融資制度が発足する。

### 昭和47年（1972年）

- 3月 生田地区町会連合会が交通安全優良団体として市長より表彰される。
- 4月 川崎市が政令指定都市となり、区制が施行される（川崎区、幸区、中原区、高津区、多摩区）。
- 4月 川崎市屋外広告物条例が施行される。
- 7月 中原区町内会婦人部連絡協議会が発足する。
- 9月 高津区の市営高山団地周辺9町内会が向ヶ丘診療所の拡充を求める署名運動を行う。

### 昭和48年(1973年)

- 4月 生田緑地周辺8町内会等が「緑地の民間ゴルフ場開放」を求める請願を行う。
- 5月 川崎市の人口が100万人を突破。
- 6月 川崎信用金庫からテント100張りの寄贈を受ける。

### 昭和49年(1974年)

- 2月 多摩区の菅町会が多摩川の船着場近くに記念碑を建立する。
- 6月 川崎区の桜本2丁目町内会が、桜本児童公園内に相撲の土俵を設ける。
- 10月 幸区の南幸町町内会が、空ビン回収で市長より表彰される。



高津市民祭で外国人が飛び入り参加（昭和51年）



ロッテの川崎進出で握手する伊藤市長、松井球団社長、金田監督（昭和52年）

### 昭和50年(1975年)

- 8月 第4代会長に青山清次氏が選出される。
- 8月 幸区の河原町団地で、犯罪防止のための夜間パトロールを始める。
- 11月 百合丘生誕15周年文化祭を開く。

### 昭和51年(1976年)

- 9月 地域住民組織研究会で市内一円を視察する。

### 昭和52年(1977年)

- 7月 川崎市自主防災組織防災資器材購入補助金交付制度が発足する。
- 10月 「川崎市八ヶ岳少年自然の家」と甲府市を視察する。
- 12月 ロッテ球団歓迎市民集会に参加する。

### 昭和53年(1978年)

- 10月 第1回「川崎市民祭り」が開かれ参加する。

### 昭和54年(1979年)

- 5月 アメリカ合衆国ボルチモア市との姉妹都市提携に参加する。
- 6月 川崎市市民自治財団を設立する。
- 6月 第1回多摩川美化活動を実施する。
- 8月 第5代会長に大島保氏が選出される。

### 昭和55年(1980年)

- 4月 自動車に「川崎ナンバー」が誕生する。
- 6月 幸区の河原町団地自治会で、駐在所の巡査部長へ感謝状を贈る。
- 6月 第1回市内統一美化活動を実施する。
- 12月 百合丘地区結成20周年記念を祝い、百合丘駅前に時計塔を設ける。

**昭和56年(1981年)**

- 1月 市議会で高津区と多摩区の分区線引きが決まる。
- 11月 生田地区町内会連合会が20周年記念式典を開く。
- 12月 国際障害者年募金運動より車椅子13台、補聴器20個を川崎市に寄贈する。

**昭和57年(1982年)**

- 7月 分区により7区となる。(宮前区、麻生区誕生)。
- 9月 障害者福祉活動として黄色いハンカチ6,000枚を川崎市に寄贈する。

**昭和58年(1983年)**

- 4月 川崎市自主防災組織活動助成金交付制度を発足させる。
- 7月 幸区古市場町内会の子どもたちが、古タイヤの太鼓を祭りで披露する。
- 12月 川崎市総合自治会館が開館する。

**昭和59年(1984年)**

- 6月 中原区苅宿町内会が緑化推進運動功労者の総理大臣表彰を受ける。
- 7月 麻生区多摩美町会が地域の緑を守ろう、と市に陳情を行う。



地下街アゼリアがオープン（昭和61年）

**昭和60年(1985年)**

- 11月 第1回住民組織研究会で水上勉氏が「人間について」講演。
- 11月 障害者福祉専門委員会が福祉機器展の視察と講演会に参加する。

**昭和61年(1986年)**

- 10月 第1回川崎市全町内会大会を開催する。
- 10月 自転車等の放置防止に関する条例を施行する。
- 11月 川崎地下街アゼリアが、川崎駅東口広場にオープン。
- 12月 7月6日の衆参同日選挙の啓発に積極的に参加し、自治大臣から表彰を受ける。



日本を代表する写真家10人の作品展が開かれた市民ミュージアム写真展示室（昭和63年）

**昭和62年(1987年)**

- 2月 住民組織研究会で俵孝太郎氏が「これからの政治とくらし」講演。
- 6月 姉妹都市提携10周年でリエクタ市に訪問代表団を派遣する。

**昭和63年(1988年)**

- 5月 姉妹都市ウーロンゴン市（オーストラリア）に代表団員を派遣する。
- 11月 「川崎市市民ミュージアム」がオープンする。
- 12月 川崎区本町2丁目町内会で「火の用心」のパトロールを行う。



かながわサイエンスパーク (KSP)



ソ連への医薬品 第1便出発式

### 平成元年(1989年)

- 1月 ソ連・アルメニア共和国地震災害救援募金を行う。
- 2月 川崎市自治功労賞を制定及び第1回功労者を表彰する。
- 3月 川崎区の町内会婦人部等が「市営老人ホーム建設」の署名を市議会に提出する。
- 5月 姉妹都市ボルチモア市に代表団員を派遣する。
- 7月 第6代会長に山口武氏が選出される。
- 11月 市長選挙で高橋清氏が当選する。
- 11月 高津区の工場跡地に「かながわサイエンスパーク (KSP)」がオープン。

### 平成2年(1990年)

- 11月 生田地区町会連合会30周年記念式典を開く（記念誌を発行）。
- 12月 川崎市医薬品等ソ連緊急協力市民委員会「愛の手募金活動」を推進する。

### 平成3年(1991年)

- 3月 「ソ連愛の手募金」で募金27,719,602円が集まる。
- 8月 雲仙・普賢岳の火山活動が長びく中で「雲仙募金活動」を実施する。
- 10月 「雲仙募金」(68,192,416円)を島原市と深江町に寄託する。
- 12月 川崎市全町内会連合会創立30周年記念大会を開催する。

### 平成4年(1992年)

- 4月 「川崎市平和館」の開館（中原区）。
- 7月 北海道中標津町と友好都市を結ぶ。
- 10月 「あさおまつり唄」区民まつりで披露される（麻生区）。
- 11月 全町内会大会で俳優の米倉齊加年氏が「芝居と、絵と、人生と」と題して講演。

### 平成5年(1993年)

- 1月 7区のシンボルマークが決まる。
- 2月 自治功労賞贈呈式で、ボストンマラソン優勝者・山田敬蔵氏が講演。
- 8月 北海道奥尻町の地震災害救援募金への協力（奥尻町へ53,254,556円を送金）。
- 10月 川崎駅東口のイベント「いいじゃん かわさき」開始。

### 平成6年(1994年)

- 2月 自治功労賞贈呈式で、琵琶奏者・上原まり氏が講演と演奏「私と琵琶」。

- 11月 市制70周年記念・全町内会大会。  
 町内会自治会役員永年勤続功労者表彰。  
 評論家・森田実氏が「どうなる日本の政治」と題して講演。  
 12月 市のシンボルマーク決まる。

### 平成7年(1995年)

- 2月 兵庫県南部地震被災者救援募金（見舞金162,833,402円）  
 6月 自主防災組織からの要望（自主防災組織の充実・強化等9項目）。

### 平成8年(1996年)

- 5月 市制だよりの月2回発行開始。  
 7月 「かわさき市民放送」開始。  
 11月 全町内会大会で落語家・桂米丸師匠が「笑いと人生」で講演。  
 11月 多摩区自主防災組織連絡協議会が発足。



アクアライン開通

### 平成9年(1997年)

- 3月 川崎市自主防災組織連絡協議会の設立。  
 7月 第7代会長に中島豪一氏が選出される。  
 9月 川崎市が「こども110番」事業の支援スタート。  
 12月 東京湾アクアライン（15.1km）が開通。普通車料金は4,000円。

### 平成10年(1998年)

- 1月 県に対して要望（全町連への県広報活動団体報奨金補助を）。  
 10月 「かながわ・ゆめ国体」への協力。

### 平成11年(1999年)

- 6月 全国自治会連合会に加盟（神奈川県全町内会連合会を結成）。  
 9月 川崎大師観光ボランティア養成事業開始（川崎区）。  
 10月 「岡本太郎美術館」オープン（多摩区）。

### 平成12年(2000年)

- 2月 麻生まちづくり会議発足（麻生区）。  
 3月 かわさき大師観光ガイドの会発足（川崎区）。  
 3月 長野県佐久市と「交流都市宣言書」の交換式（宮前区）。  
 12月 中原・麻生世紀越えカウントダウンイベント開催。

### 平成13年(2001年)

- 2月 麻生観光協会発足（麻生区）。  
 9月 7都県市合同防災訓練が新川崎地区をメイン会場に行われる（幸区）。  
 9月 北海道中標津町との友好都市活動を実施する。  
 10月 市長選挙で阿部孝夫氏が当選する。  
 11月 創立40周年記念 第16回川崎市全町内会大会。